

意見公募手続（パブリックコメント）に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：鹿屋市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画
- 2 意見の募集期間：令和5年12月13日～令和6年1月19日（38日間）
- 3 意見提出者：1人
- 4 意 見 数：1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>今後、財産をどうするか？土地などの財産が消滅しているということがおきうるので、弁護士などが介入しやすい形をつくるのが大事といえる。特に“健康”に注目されるが、実は土地や建物などが他人の手に渡っていることが多いと思われる。税金を払っているものの本人が我慢強く人を信用しない、特定の人しか話しをしない場合は、財産が他人のものになっていることが多い。今後、お金なり、土地なり建物なり、会社なり、教育なり、我慢度(仮)なり、主張なりをよく吟味する必要がある。また、お金が必要な場合は、介護クラウドファンディング(仮)を創設して法律なりをきちんと守らせることが大事。特に受け手が犯罪にならないように(有資格者)資格者が本当に正しいことばかりやっていないか？書類通りしかやっていないくて、弱い立場の人を考えているどうか、議論をすべき所である。ある人にとっては簡単で、我慢強い人、人を簡単に信用しない、人づきあいが少ない、一人が好きという人の場合は法律の溝(仮)にはまる可能性がある。つまり問題が次から次へと発生していく訳だ。こうした人たちは、なるべく人付き合いを増やすようにする。特に第1印象で決めることが多いので、慎重かつ、大胆に会って話しをしていく。ここ鹿屋市は自分の時間が人によってはかなり時間があるので趣味の時間が、たっぷりあるが、それが一旦、不健康になると、人生、終わりになってしまうので、そうならないためにも、楽しくさせるイベントをテレビで放送できるようにして、らくちん社会(仮)を目指す。あたかも体験しているかのような、リアルヴァーチャルを見せてみるのも手と思う。用は、体験は病気になっても楽しみに出来る社会づくりが大事で、病気につらい、財産をとられてくやしい、お金がないから(サービスを受けたいがお金がない、税金を払っていなかったからサービスを受けられない、病院代がないから受けられない、法律を知らないから警察に訴えない、法律を知らないから密室社会(仮)になりやすい(財産が無くなっている))などである)なんでもできないから、ストレスを倍増していく。税金を支払わないとサービスを受けられないのであるが、今後、素人の人、よくサービスを知らない人(法律が分からないのではなく、お金が無いからと主張する頑固な人</p>	E	御意見として承り、参考とさせていただきます。

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>たち)あと、料理の作り方を知らない人が増えるだろうと思われる。低栄養ではなく餓死を想定しておく。ヘルパーを使い、料理を作ってもらうのも、材料や予算があっただが、時に300円ばかりでは限界がある。またアルカリ鉱泉水は体に石ができる可能性がある。時にいいものだからといって、なぜそうなったのか考える必要がある。処分といっても、当人が口を聞くことが出来ない、話すことが出来ない、考えることができないから薬の飲みすぎなど、けいたい電話を持たなければ社会に残れなくなってきた。持てなくて大丈夫といえる社会になるようにしたい。かならずとも出来るとは限らない。一歩前進、10歩後退かもしれないが、当人が判断できなくても精神的充実が大事である。私●●●●に注意する。(意見は原文を記載。※読み取れない文字は「●」で標記)</p>		